



平成30年2月7日(水) 第31号



試験[中]、試験[後]のこと...



前回の学年日よりでは、受験前日と当日に「気をつけてほしいこと」を書きました。次は、いざ試験が始まってから「気をつけてほしいこと」を書いていきます。しっかり読んでおいてくださいね。

試験中の注意



*

※試験監督の先生・高校の先生・職員の方たちの指示をよく聞き、その指示にしたがって、落ち着いて、丁寧な文字で受験番号や名前等を記入すること。乱雑な文字は、本当に×になる可能性があるばかりではなく、その人の性格や人柄があらわれるものです。気をつけましょう。

※今さらかもしれませんが、試験が始まったら、時間配分をよく考えて、できそうな問題から先に解いていくこと。解答欄を間違えることなく、いつでも丁寧な文字で解答を記入しましょう。

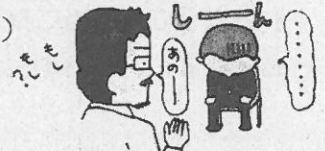
※試験中は問題用紙と解答用紙だけを見て、まわりをキョロキョロしないようにしましょう。

※最後まであきらめず、空白の解答欄を残さないように、答えを書ききりましょう！

※もしも早く終わっても、机に突っ伏して寝るなどということのないようにしましょう。「乱雑な文字」と「机に突っ伏して寝る」という態度は、本当にやる気があるのか疑われるものです。

※試験終了の合図できちんと筆記用具を置き、不正行為と見なされるような行動にはくれぐれも気をつけること。まぎらわしい行為もしないようにしよう。人間は“魔が差す”生き物です。

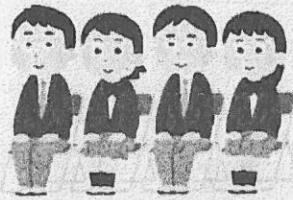
※1科目が終わったら、他の人と答え合わせをしがちですが、廊下へ出る・トイレに行く・手を洗うなどして、気分転換を図ること。（「イマイチ調子が良くなかった」という人は、特に気分転換が必要です。答え合わせなどせずに、気持ちを次の科目に持っていきましょう。）



*

読めばわかると思いますが、結局は「中学校と同じ」です。中学校で最初のテストである「1年1学期の中間テスト」のときから先生たちが言い続けていることです。それなのに、最近「文字が乱雑な人」、「早く終わったといって寝る人」が(少しですが)います。身についてしまった行動はなかなか抜けないものですが、常に意識すればできるはず。先生たちは幸運を祈るしかできません。

試験終了後の注意



※無事に試験が終了したら、試験監督の先生・高校の先生・職員の方たちの指示をよく聞き、必要なことがあればメモをしておこう。合格発表や手続きの話があるかもしれません。

※次の日(11日)にも試験や面接があるという人は、集合時間・場所等を再確認して、気を抜かずに帰宅すること。持ち物は当然違うでしょうが、「集合時間が10日と違う」ということもあり得ます。繰り返しますが、11日(日)も朝から職員室には3年生の先生たちが控えています。何かあったら、受験校に直接電話せず、至急堀江中学校に電話連絡をする。《TEL06-6531-7868》

※堀江中学校に報告に来る必要はありません。もし何かあったのなら電話連絡をしてください。

※気を抜くのはまだ早い! 《家に帰るまでが受験》です。まっすぐ家に帰ること。

※人事を尽くして天命を待つ! 全力を尽くしたら、その日はぐっすり眠りましょう。

試験が終わって家に帰るとき、どの受験生も緊張から解放されて、気持ちが切れてしまいがちです。そういうときにトラブルも発生しやすくなります。キミたちは遊びに行っているわけではありません。ここでも他校生に^{ほんろう}翻弄されることなく、まっすぐ家に帰ってきてください。こういう状況では、【他校生(塾の友だち)とのトラブル・寄り道・買い食い】などが予想されるトラブルです。これまでの中学校生活をふり返って、予想されるトラブルを必ず回避してください。

*

次の登校日(2/13・火曜日)の注意 ←※月曜日の時間割



※すでに合格発表があった人は、合格通知を持って登校し、担任の先生に報告すること。

※気持ちはわからないではありませんが、「発表が気になるから休む」のはやめましょう。先生たちもキミの顔を見て安心したいのです。(保護者のみなさまもご理解とご協力をお願いいたします。)

※専願で合格した人は、手続きの期限が近いと思います。納入金(呼び名はいろいろあります)を、期日までに必ず納めて、手続きを確実にこなしてもらおうこと。また、合格者説明会等がある場合も忘れずに参加すること。(保護者のみなさまもご理解とご協力をお願いいたします。)

※万が一、残念な結果になってしまった場合も、落ち着きを失わず、先生たちと一緒に、冷静に、次のことを考えましょう。きっと大丈夫ですから。



先生たちは、キミたちが今までやってきたことを、自信をもって精一杯発揮してくれと信じて、健闘を祈りながら職員室で待っています。そして、13日(火)以降は、さまざまな状況の仲間、立場の異なる仲間と、中学校生活の残りの日を過ごすこととなります。教室に掲示されている「卒業カレンダー」のように、本当に数えられるぐらいの貴重な日々を大切にして、受験を続ける人への気遣いや優しさも忘れずに、58期生全員で、楽しく、温かく、^和やかに学校生活を送りましょう。



保護者のみなさまへ

私たち教員の願いは、最後の5行に集約されています。この時期、専願で合格した生徒が、気持ちを緩め、生活態度が乱れるということが見られがちだからです。学校でも気をつけて指導しますが、ご家庭でもこういう話題を出すことで、心ひとつにご指導をしていただきたいと思います。何か困ったことがあれば、お互いに連絡をとり合って、丁寧に指導を続けたいと思っています。お願いいたします。